



幼稚園教諭・保育士養成校と当連盟役員との意見交換会

当連盟役員と広島県内及び近隣の養成校の先生・キャリアセンターの担当者と意見交換会を実施しましたので、概要をご報告いたします。

福山会場

日時 令和7年2月4日(火) 15:00～16:30

場所 福山大学社会連携推進センター 202室

役員(4人)、養成校(4人)



《幼稚園・認定こども園フェアについて》令和7年度のパネルディスカッションに学生の知りたいことを反映させるため、事前に学生へ知りたいことをアンケート調査して、当日のディスカッションに盛り込む。また、福山会場はほとんどの福山市内の園がブース参加している。広島会場の園の参加も増やす必要がある。園が参加しない理由は様々で、採用がない、土日出勤を避けたいなどがある。参加の多い学校に、フェアの開催

時期を事前確認するのも一つの方法ではないか。実習期間との重複をすべて避けることは無理があるため、3月、6月、8月等、複数回に分けて開催するなど検討の余地がある。

《学生の離職、相談事について》幼稚園へ就職した卒業生からの離職相談はない。相談内容としては先輩の先生が忙しそうで相談のタイミングに悩む、いつ声を掛けたらいいかわからないというような声を聞いた。近年は離職者の数は減少傾向という感じがある。最近の学生を見ていると保育業界に入りたい、保育の仕事がしたいと就職したので、離職率が低下しているのではないかな。

《就職の傾向》福山市私立幼稚園協会の採用登録にエントリーする学生数が減少している。保育園や療育施設など、希望先が多様化しているのも要因。

《実習について》実習先での経験、評価が学生の自信に影響し就職先選びにつながっているようだ。学生には、園が求める人物像を明確に伝えてほしい。



《中学生・高校生へのPR、キャリア形成》中・高校生に幼稚園教諭、保育業界で働くことの魅力を伝えることが重要。特に、職場体験学習の影響が大きく、中学校の職場体験が保育業界を目指すきっかけとなることが多い。

広島会場

日 時 令和7年2月12日（水）15：00～17：00

場 所 広島ガーデンパレス2階「白鳥」

役員（8人）、養成校（15人）

《幼稚園・認定こども園フェアについて》実習日程と重なる日は参加できない学生もいる。就職に限らず園を知るということにも活用してほしい。参加学生は情報収集や実習先選びでもフェアに参加している。

《就職活動について》幼稚園や保育園の採用活動が一般企業に比べて遅い（キャリアセンターからの意見）。地元での就職を希望する学生が多い。地元の幼稚園、保育園・施設での実習には就職フェアは役立つ。幼稚園、保育園、施設の実習すべてが終わってから焦らずに就職活動を始めようように指導している。

《実習について》実習先での経験が学生の自信につながり、将来の進路選択に大きな影響を与えている。自信が持てない、進路に迷っている学生には養成校の教員や実習先での指導教諭の励ましが自信につながっている。幼稚園教諭免許しか取得していなくても、働きながら保育士資格を取得している先生もあり、援助する制度もある。

《中高生へのアプローチ》将来の幼稚園教諭や保育士を目指す中高生へのアプローチが必要。

《情報発信、情報提供について》学生は電話でのコミュニケーションにハードルを感じているため、SNS やインスタグラムを通じた情報提供が効果的。一部の養成校では SNS の利用に関する指導が行われ、正式なやり取りはメール、情報は公式サイトから得るようにしているという意見があった。幼稚園実習後に幼稚園教諭を目指す学生が増える一方、仕事の厳しさに不安を感じる学生も多いため、学生が自信を持てるよう、職場の魅力ややりがいを伝えることが重要。



《奨学金返済支援》奨学金返済不要の支援が広島県からないので、支援拡充への意見があった。多くの学生が奨学金を利用し、奨学金返済支援のある求人に関心はあるが、奨学金制度があるからといって必ずしもその企業を選ぶわけではないようだ。

《人材紹介会社の利用》利用を勧めていない養成校が多数であった。学生自身が直接自分で情報収集や見学することが重要である。



研修会報告

第2回設置者・園長研修会



(堂山先生)

令和7年1月30日(木)にANAクラウンプラザホテル広島において第2回設置者・園長研修会が行われ、75名の先生が参加されました。

講演①では「こども誰でも通園制度」の本格実施を見据えた運用計画と課題についてと題し、まずは堂山宗敬経営研究委員(全日本私立幼稚園連合会政策委員・洋光幼稚園理事長)から制度説明があり、続いて龍永和成先生(永照幼稚園理事長)、武田修子先生(認定こども園ほうりんこころ幼稚園園長)、石川

裕子先生(聖慈幼稚園園長)、花岡美穂先生(認定こども園わかば幼稚園園長)がパネリストとして登壇し、実際に運営されている中での課題などお話しいただきました。



(左から、武田先生、龍永先生、石川先生、花岡先生)

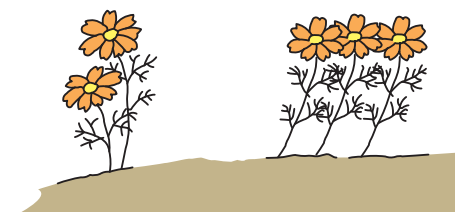
講演②では「ポジティブ行動支援(PBS)で大人も子どもも積極的になる」と題し、奥田健次先生(学校法人西軽井沢学園理事長)が、講演③は「離職防止・採用・定着につながる労務管理の正しい知識と実務ポイント」と題して、菊地加奈子先生(社会保険労務士法人ワーク・イノベーション代表)に講演いただきました。



(奥田先生)



(菊地先生)



こども誰でも通園制度について期待すること

令和8年4月の本格運用に向けて、県内の各自治体においても試行的事業が開始されています。この制度は、その目的を「全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な育成環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため」（内閣府 HP 参照）としており、実質的に支援が空白状態になっていた、家庭で子育てに取り組む世帯、特に“保育に欠けない3歳未満児”にも支援を届けることを大目的としています。これは、従来から特に幼稚園業界が声をあげてきたところで、核家族化、少子化共に極限状態とも言える日本で、子育ての孤立化、いわゆる“孤育て”が大きな社会問題になっている中、私自身は、重要な分岐点になり得る制度だと考えています。

とはいえ、本制度も現段階で理想的なカタチであるかと言えば、必ずしもそうではないようです。しかし、これを我々の業界が後押しし、本制度ないしは各自治体の進める事業において“先乗り”してイニシアチブをとることで、より手厚く柔軟で理想的な制度や事業の在り方に近づけていく為のうねりのきっかけくらいは作れるのではないかと、という期待も持っています。

もちろん、実際に本制度に則り新たな事業を始めるにあたっては、人材や設備の問題など、ハード、ソフト面共に各園の様々な“壁”とも言える事情があり、簡単には開始できない園も多いでしょう。だからこそ、この試行的段階から本格運用が始まる令和8年度にかけての期間が特に重要だと感じます。この期間に多くの園が手を挙げ、各園が週1日でも、1日1、2時間でも、「実施できる範囲内で」取り組むことで、結果的に様々なカタチの事業の在り方が広く認められ、柔軟な制度に醸成されるのではないかと期待しているところです。最終的に、家庭で子育てをする保護者が孤立することなく、気軽に園を活用していただけるようになれば意義のあることだと考えます。

また、こうした動き一つ一つが、行政の取り組みに対し、是々非々で業界の意思を明確に伝え、よりよい子育て環境の整備に繋がることも、少しばかり期待しているところです。

広報委員 谷口祐司 己斐みどり幼稚園

事務局だより

◎行事予定

月 日	行 事	場 所
3月24日(月)	理事会	広島ガーデンパレス
3月25日(火) - 26日(水)	春季教員研修会(旧新採用教員研修会)	広島ガーデンパレス
4月12日(土)	実践研究会	比治山大学
4月16日(水)	経営研究委員会	広島ガーデンパレス
	人材確保・政策委員会	広島ガーデンパレス
4月17日(木)	保育研究委員会	広島ガーデンパレス
4月18日(金)	広報委員会	広島ガーデンパレス
5月2日(金)	財務委員会	広島ガーデンパレス
5月8日(木)	全日：団体長会・理事会合同会議	東京・私学会館
5月9日(金)	正副会、監事監査	広島ガーデンパレス
5月16日(金)	理事会	広島ガーデンパレス
5月17日(土)	幼稚園・認定こども園フェア東広島会場	東広島芸術文化ホールくらら
5月28日(水)	全日：定時総会	東京・私学会館
6月5日(木)	評議員会、理事会、加盟園代表者会議、正副会	広島ガーデンパレス
6月15日(日)	幼稚園・認定こども園フェア広島会場	ANAクラウンプラザホテル広島
6月24日(火)	理事会	広島ガーデンパレス
7月6日(日)	幼稚園・認定こども園フェア福山会場	福山ニューキャッスルホテル
7月9日(水)	第1回設置者・園長研修会	ANAクラウンプラザホテル広島
7月31日(木) - 8月1日(金)	教育研修大会	ANAクラウンプラザホテル広島
8月19日(火) - 20日(水)	中国地区私立幼稚園教育研修会・広島大会	ANAクラウンプラザホテル広島

事務局だより

慶弔報告

〇お悔やみ申し上げます

1月19日 学校法人河本学園前理事長 河本良登先生ご逝去

3月6日 学校法人西方寺学園 西方寺こども園前園長 猪野敬子先生ご逝去

相談事業

アドバイザー 弁護士 菊永将浩 先生

加盟園で生じたトラブル等を迅速に解決するために弁護士の菊永将浩先生をアドバイザーとして相談窓口を開設しています。

詳細は連盟ホームページの加盟園専用ページ【[文書アーカイブ](#)】へ掲載しています。



編集後記

令和7年2月5日付でこども家庭庁と文科省から送られてきたメールに添付されていた「幼稚園教諭・保育士・保育教諭の職の魅力向上・入職促進について（協力依頼）」という書類には「職場体験・出前授業の機会を通じて、幼稚園教諭・保育士等の職への理解や魅力が向上し、将来的な志望者の裾野を拡大」と記載されていた。前回の県幼通信（新春号）編集後記に記したように、呉市私立幼稚園協会人材育成支援部として、呉市内にある高校に現場の幼稚園教諭による出前授業が出来ないかと打診したのは昨年の12月であった。その時は教頭先生との面談で3学期は日程的になかなか難しいという反応だった。しかし、年が明けた2月中旬に、その高校から出前授業の要請があった。当初は、幼稚園に興味のある生徒さんを対象に放課後数十分でも、という提案だったが、高校からは1年生全員に向けて授業時間を50分すべてお話して欲しい、ということだった。日程はタイトであったが、事前アンケートにも協力してもらい、幼稚園に対する疑問、知りたいこと、丁寧に記載したデータも入手して、現場の幼稚園教諭3人がそのアンケートに応えながら保育の素晴らしさについて話しをさせていただいた。最後は県幼連盟作成のDVD(13分)を視聴してもらい締めくくることができた。アンケートの質問に応えきれなかった部分は、後日、スタッフが作成した文書を学校に届ける予定である。高校生は終始熱心に聴いてくれ、また、現場の先生達の話にもよく反応していたように思う。今年度にもう1校の高校での出前授業が予定されている。国も幼児教育の重要性に気づき、また、幼稚園教諭不足の解消のために取り組みをしているようである。この機を逃さず積極的に保育の素晴らしさ幼児教育の大切さを小学生・中学生・高校生にアピールしていくべきだと感じた。(H)

年4回新春・春・夏・秋号と定期的にホームページに掲載していた県幼通信は、この春号で最後となります。既に、当連盟によるInstagramなどのSNSを通して、タイムリーに情報をアップデートしております。これからも、より良い情報をより早く正確に加盟園の皆様にお届けできるよう鋭意努力してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。